

石西

自然再生

礁湖

石西礁湖自然再生 ニュースレター 2006.04

1

豊かな海と生きていく



石西礁湖自然再生協議会がスタートしました

石西礁湖の豊かなサンゴ礁を取り戻すため、自然再生推進法に基づいて「石西礁湖自然再生協議会」の取り組みがスタートしました。ニュースレターでは、この協議会の様子をご紹介します。



平成18年2月27日、「第1回石西礁湖(せきせいしょうこ)自然再生協議会」が石垣市で開催されました。

協議会は、環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所、内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課、沖縄県文化環境部自然保護課の3者の呼びかけによって、個人32、団体・法人30、地方公共団体20、国の機関7の計89の個人・組織でスタートしました。

まず、呼びかけ人から石西礁湖自然再生に向けたこれまでの取り組みについて説明があり、その後、協議会の設立趣旨の説明や規約の承認が行われました。協議会の会長には、琉球大学教授の土屋誠委員が、会長代理には八重山サンゴ礁保全協議会の吉田稔委員がそれぞれ選出されました。

また、今後作成していく石西礁湖自然再生全体構想については、作業グループを設置して、作業を進めていくことが確認されました。



会長 就任 挨拶

土屋 誠 委員
琉球大学

石西礁湖の自然再生は、全国の自然再生プログラムの中でも最も難しいものの一つであると思います。海の中の自然を取り戻すことを具体的にどの程度実行できるか、大きな課題を背負ったということだと思います。自然を攪乱した責任が人間にあるのであれば、それを治すのも私たちの責任です。皆さんと一緒に実現させていきたいと思っています。



会長代理 就任 挨拶

吉田 稔 委員
八重山サンゴ礁保全協議会

昭和50年頃から石西礁湖の海に潜っております。本業はサンゴ礁の調査業で、常に保全という視点でサンゴ礁を見続けております。石西礁湖のサンゴ礁は、我が国で一番のものだと思いますが、最近どんどん悪化しているようで、その菌止めも利かないような状況になってきていると思います。その原因は、土屋先生が言われたような、人間の活動によるものだと思います。ですから、それを維持したり、向上させていくのも人間の活動で出来ると思います。

「協議会委員の熱い思い」

第1回協議会での意見交換

意見交換.1

各委員に「石西礁湖自然再生の目指すもの～あなたにとっての石西礁湖像は?～」、「そのために最も重要と考えること(具体的な対策)」の2つについて、それぞれの熱い「思い」を書いてもらいました。

意見交換.2

書いたシートを6つのテーマ(①保全管理の強化、②持続可能な利用、③サンゴ群集の修復、④普及啓発、⑤調査研究、⑥その他)に分けてボードに貼り付け、各委員の意見を互いに見ながら、気になった意見にシールを貼ってもらいました。

意見交換.3

シールがたくさん貼られた意見については、これを書いた委員からさらに具体的な思いなどを発表してもらい、意見交換を行いました。

意見交換の中で昔の石西礁湖の思い出を語っていただきましたので、ご紹介いたします。

「小さいころは小浜島から石垣まで2時間近くかけて船で往來した。当時は、潮の干満を見て船の時間が決まったので、ちょっと時間が遅いと、本当に浅瀬に乗り上げることもあって、サンゴ礁もゆっくり見ながら、時にはカメが泳いでいる姿も見ながら、子供心にもすごいなというふうなことを感じた。」

慶田盛 博さん



皆さん、真剣に「思い」を書いています。



「持続可能な利用」に貼ろうかな・・・



色々な意見交換がなされました。

以下に関心が高かった意見を5つずつ紹介します。

| テーマ | 石西礁湖自然再生の目指すもの あなたにとっての石西礁湖像は? | そのために最も重要と考えること(具体的な対策) |
|-----------------------|-----------------------------------|---|
| 保全管理 の強化 (全17件) | 豊かなサンゴ礁生態系 | 生活排水・赤土等対策 |
| | 世界遺産 | 陸域の保全 |
| | 世界遺産への登録 | 保護区の拡大 |
| | 特色ある取組 | 保護区の設定 |
| | サンゴ・魚を代表とする生き物があふれる海 | 陸の、海の、適正利用・管理 |
| 持続可能 な利用 (全11件) | 60年代のサンゴ スゴクッ!! | 航路も含めて検討する |
| | 豊かなサンゴ礁 | 土砂流出防止 |
| | 持続的な利用(漁業・ダイビングなど) | 利用調整のための話し合いの場を作る |
| | 恵みの海 | 共生 |
| サンゴ群集 の修復 (全8件) | 一般利用の出来る国立公園 | 世界に誇れる技術を駆使しての利用(モデルエリア) |
| | 10年前までは豊かなサンゴ礁、しかし魚類は貧弱だった | サンゴ礁らしい生態系への再生の努力 |
| | 昔のようなキレイなサンゴ礁、たくさんの魚たちに | くわしい知識がなくても、誰もが協力できる環境に |
| | 生物相豊かな海域(人間も含む) | 健全なサンゴ礁生態系の復活 |
| | 自然をはぐくみ 暮らしを守る豊かな海 | サンゴの保護と育てること |
| 普及啓発 (全11件) | 美ら海 | タンカー船のアンカー被害、オニヒトデ対策 |
| | 空から見えるサンゴ礁 | 環境教育の充実 |
| | 万人が日常的に利用できる身近な自然環境 | 目で見、手で触れるツーリズム、環境の形成と啓蒙 |
| | 生物あふれるきれいな海岸線の海 | 赤土、生活雑排水の流出防止、島の若者の意識づけ |
| | 虹色の回復 | 心づくり(環境教育)、長期啓発の継続(子供→大人) |
| 調査研究 (全6件) | 生活の一部 | 排水がどのような影響を及ぼすのか意識を持たせる |
| | 多様で脆弱なサンゴ礁にどう人の活動が適応できるかを考えていく | 歴史・文化・経済といった側面から、まず石西礁湖再生事業の理念を定める。そのための人文・自然科学的な情報を収集する。 |
| | 人と自然の健全な共生システム | 包括的な環境モニタリング(何が原因でどのように変わってきているか) |
| | 海を想い、気づき、そして行動する | サンゴ礁の再生を防げる要因の解明とひとりひとりが出来ることの提案 |
| | 持続可能な利用 | サンゴ礁生態系の解明 |
| その他(全1件) | 多様なサンゴ群集 | 遺伝的研究への取組 |
| | 「海の森」という源流を支えるゾ | 石西礁湖(南西諸島)を世界遺産に!! |

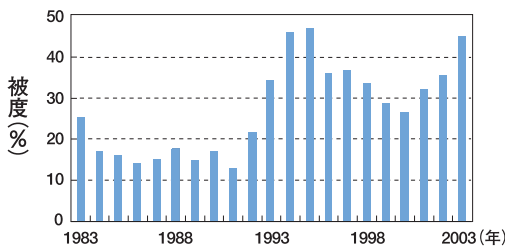
委員の皆さんのご意見はホームページでご覧になれます(<http://shizensaisei.com>)

石西礁湖は いま

.....シリーズ ①

石西礁湖のサンゴ礁の現状

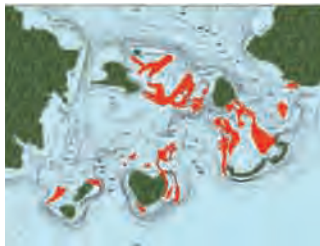
広域モニタリングの地点平均サンゴ被度の変化(図4)



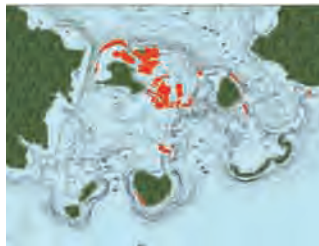
「サンゴが少なくなった。」と多くの人から耳にします。石西礁湖のサンゴ礁は今のような状況にあるのでしょうか。サンゴの分布状況のデータからその移り変わりを見てみましょう。

1980年頃の石西礁湖は、サンゴが海底を覆っている割合の高い海域が広く分布しており(図-1)、オニヒトデによる大規模な食害を受ける前の様子が伺えます。その後、1985年頃までに広範囲でオニヒトデの食害を受けてサンゴは極端に減少しました(図-2)。1990年代に入るとサンゴは回復を始めたが、1998年以降の白化現象※により再びダメージを受けました(図-3)。その後、一部回復傾向にありますが、近年、オニヒトデの増加が確認されており、サンゴにとって厳しい状況が続いています。

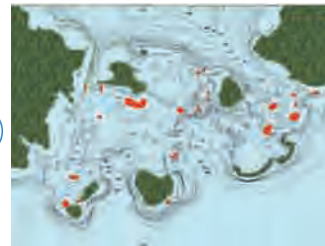
※白化とは、サンゴと共生関係にある褐虫藻(かっちゅうそう)がサンゴから抜け出て白っぽく変化することを言います。これが長期間続くとサンゴは死んでしまいます。



1980年頃の枝状ミドリイシ高被度域(被度50%以上)(図1)



1991年のサンゴの高被度域(被度50%以上)(図2)



2002年の枝状ミドリイシ高被度域(被度50%以上)(図3)



Gallery

石西礁湖ギャラリー 忘れられない海



1970年代の石西礁湖

これは1977年に黒島の浦干瀬(ウラビシ)で撮影されたものです。かつて、石西礁湖ではこのようなサンゴ礁があちこちで見られました。石西礁湖自然再生の目標とするサンゴ礁の姿です。(撮影:(財)海中公園センター八重山海中公園研究所 元研究員岡本一志 1977.5.5)



ヒフキアイゴの群れ

これは水中写真のパイオニアとして知られる益田一氏が石西礁湖で撮影した1コマです。「昔は豊かなサンゴの森に魚が湧き、群れ泳いでいた」という海人の言葉を思い出さずにはられません。(撮影:益田一)



ストップ赤土

大作戦!!



今回は、石垣島周辺海域環境保全対策協議会と新川小学校が行った「ストップ赤土大作戦」をご紹介します。2月9日の午後、総合学習の時間を利用して、新川小学校の81人の生徒が石垣市内の畑の周りに赤土の流出を防止するために月桃の苗を植えました。最初にサンゴ礁や赤土の影響についてのお話を聞きましたが、中にはグループ学習でサンゴをテーマに調べた子ども達もいて、サンゴについてよく知っているようでした。それから畑に移動して、協議会の方々より月桃の苗が配られ、みんなで協力して960本の月桃の苗を植えました。植えられた月桃は畑の周りに20cm間隔ぐらいできれいに立ち並び、今後の成長が楽しみです。大きくなって未来の石垣のきれいな海を守ってくれることと思います。石垣島周辺海域環境保全対策協議会では、小中学校と協力し、月桃を植える活動を年数回行っているほか、赤土流出防止のためのポスター・標語コンクールなど、いろいろな活動を行っています。



月桃の苗を運びます。



穴を掘って月桃を植えよう。間隔は20cmぐらい空けてね。

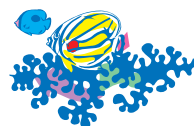


月桃が倒れないように土を固めます。

環境省 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターから

八島小学校の少し奥に「環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター」があります。ここでは、サンゴ礁の保全にむけた取り組みや自然再生の進め方について考えたり、このニュースレターをつくったりしています。センターでは、展示コーナーでサンゴをわかりやすく紹介し、資料室ではサンゴのことや自然のことを調べたりすることができます。入館は無料ですので、皆様お気軽にお立ち寄り下さい。

開館時間:午前9時～午後5時 休館日:土・日・祝日・年末年始



編集
発行

環境省 那覇自然環境事務所
内閣府 沖縄総合事務局

お問い合わせ先

環境省 石垣自然保護官事務所
【所在地】〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27
【電話】0980-82-4768 【FAX】0980-82-0279
【E-mail】okironc@coremoc.go.jp
【自然再生ホームページ】<http://shizensaisei.com/>